

科目名称：	ビューティ演習（ビジネス実務学科）	
担当者名：	上野 佐奈美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
この授業では社会人になってからも活かせる、セルフビューティと文化ビューティの二つのプログラムを実施していきます。セルフビューティプログラムではセルフビューティの基礎知識と基本技術の習得を通じて社会人としての身だしなみメイクや自分らしくかつ目的に合わせた好印象力の基本知識と技術を身につけます。また、文化ビューティプログラムでは日本文化を背景とした美学の基本を学びながら自分自身の美意識の向上とそれに伴う知識と技術また作法等も学びます。さらに、文化教養とこれからの生活スタイルに欠かせないエコロジーの観点の融合でライフビューティも目指していきます。		
授業の達成目標・到達目標		
セルフビューティプログラムでは就活メイク、スキンケア&ヘアケア、セルフネイルケア、イメージカラー、アロマ&ハーブ等の基礎知識を学び実際に演習を通じて基本技術を身につけ、イメージアップを図ります。文化ビューティプログラムでは、セルフ着付けで自分で浴衣が着れるようになること。また日本に伝わる「風呂敷」に纏わる歴史や文化背景、また現代の生活にあった活用法を学び文化教養を通じて日本の美意識を養いながらトータルにイメージアップを図ります。到達目標の一つとして「結道 ふろしき文化エシカル検定」合格を目指します。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)		20	20	60	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 上野 佐奈美 ビューティ&カルチャー教室主催	《経験年数》 20年
	《内容2》	《経験年数》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
パーソナルカルテの作成 (SBT)	全ての項目に関して80%~100%具体的に記入されている。次回の課題と目標が明確に述べられている。	全体の項目の60%~80%は記入されている。次回の課題や目標の明確さには欠けるがまとまった内容で書かれている。	全体の項目の40%~60%は記入している。次回の課題や目標のどちらか一つだけ書いてある。または二つ書いてあるが明確さや丁寧さに欠ける。内容のまとまりに欠ける。	全体の項目の20%~40%程度記入してある。次回の課題や目標が立っていない。
積極的な実技実習参加	学んだことを活かしながら、積極的に実習に参加する。特定の人とだけペアになるのではなく円滑なグループワークに取り組んでいる。	学んだことを活かしながら実習に参加する。グループのみんなと意見交換をしている。	実習に参加する。グループワークの時はいつも決まった人とペアになる。	実習に参加しない。または参加してもイヤイヤ参加。
共同的なグループ実習参加	グループのリーダーとして時間配分やグループメンバーの実習についてもサポートして	グループのリーダーをサポートしながら、実習に積極的に参加する。	グループの一員として、まじめに参加した。	グループワークに参加しない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間
第1回	セルフビューティプログラム1 (就活の身だしなみ、イメージカラー) セルフビューティファイルの作成 (外面、内面) (レポート提出1)	シラバスの精読。持ち物(メイクとヘアの道具、顔全体が映る鏡)	30分
第2回	セルフビューティプログラム2 (スキンケア&ヘアケア、メイクアップの基本、就活メイク、イメージカラー)	セルフビューティや就活の身だしなみについて復習する(持参:メイク道具、顔全体が映る鏡) 資料(復習、予習)	30分
第3回	セルフビューティプログラム3 (アロマ) 文化ビューティプログラム1セルフ浴衣の着付け (着物の基礎知識、浴衣の着方とたたみ方)	就活メイク復習、着物の基礎知識について復習	30分
第4回	セルフビューティプログラム4 (ハーブ) 文化ビューティプログラム2セルフ浴衣の着付け (浴衣の着方とたたみ方、帯結び)	就活メイク復習、着物の基礎知識について復習	45分
第5回	文化ビューティプログラム3「結道 ふろしき文化エシカル検定」に向けて基礎知識1実技演習1	就活メイク復習、風呂敷の基礎知識、実技の復習	45分
第6回	文化ビューティプログラム4「結道 ふろしき文化エシカル検定」に向けて基礎知識2実技演習2	就活メイク復習、風呂敷の基礎知識、実技の復習	45分
第7回	文化ビューティプログラム5「結道 ふろしき文化エシカル検定」に向けて基礎知識3実技演習3	就活メイク復、風呂敷の基礎知識、実技の復習	45分
第8回	文化ビューティプログラム6「結道 ふろしき文化エシカル検定」に向けて基礎知識4実技演習4	就活メイク復習、アロマの復習、風呂敷の基礎知識、実技の復習、□	45分
第9回	文化ビューティプログラム7「結道 ふろしき文化エシカル検定」に向けて基礎知識5実技演習5 検定対策	就活メイク復習、ハーブの復習、風呂敷の基礎知識、実技の復習、	45分
第10回	セルフビューティプログラム5 セルフネイルケア1	ネイルケアの復習(持参:ネイルケアセット、メイクとネイルの道具、顔全体が映る鏡)	45分
第11回	セルフビューティプログラム6 セルフネイルケア2	ネイルケアの復習(持参:ネイルケアセットメイクとネイルの道具、顔全体が映る鏡)	45分
第12回	セルフビューティプログラム7 セルフネイルケア3	検定試験に向けて学習、実技の復習	45分
第13回	結道 ふろしき文化エシカル検定」試験 セルフビューティプログラム8 (小テスト1)	振り返り全体の復習	45分
第14回	結道 ふろしき文化エシカル検定」試験予備 セルフビューティプログラム9 (小テスト2)	振り返り全体の復習	45分
第15回	総合演習&まとめ	振り返り全体の復習	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、復習内容を小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。

講義時間内の小テスト20% (1回10%×2回) レポート提出20% (1回10%×2回) 実技チェック20%、講義、実習に関する積極的関与を40%で評価する。

課題に対するフィードバック

授業内、次回までの課題レポートは評価し、返却する。また、実技チェックはその都度、技術向上に向けてのアドバイスを含め評価する。

教科書・参考書

オリジナル教材セットの購入、その他、演習用の基本のメイク道具、ネイル道具の消耗品が必要。